

ショートブレーキホースセット	適応車種	商品NO.
	GB350/S (21)	28189

■ ご使用前に必ずご確認ください ■

※本商品のご使用前に最終項に記載のURL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。
 ※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。
 ※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

▲警告 要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。

△注意 要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

▲警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> 本商品は記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。 この商品は安全にかかわる重要な部品です。取付けやエア抜き作業には高度な整備技術が必要です。整備に不備があった場合、制動力が確保できず、追突や転倒等、大怪我や死亡事故につながる危険がある為、指定/認証工場での取付けおよび分解整備を行ってください。上記の工場以外で取付け、分解整備をされた場合は道路運送車両法に基づいた対応をしてください。 レース等の過酷な条件下での使用は、保証対象外となります。 ブレーキフルードを充填する前に、レバーを頻りに動かさないでください。 ブレーキフルードは当社製の品番 78024（別売品）か車両メーカー指定ブレーキフルード DOT4（グリコールエーテル系）をご使用ください。それ以外のブレーキフルードではマスターシリンダーのシール類が膨潤してしまふことがあり大変危険です。
--	---

 実施	<ul style="list-style-type: none"> 認証工場など、適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗にて脱着作業を行ってください。作業が適切に行われないと、作業中やご使用中に車両や部品を損傷したり、不具合が発生する場合があります。 本商品の装着後は、ハンドルを左右にきった際に各ケーブルやハーネスに無理がかかっていないことを確認してください。 本商品の取り付けは、必ずメインキーを必ず OFF の状態で行ってください。メインキーON&ホイール回転するとABSモジュレータの初期診断機能が働きABSモジュレータ内にエアが混入する場合があります。 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。 ブレーキフルードの取り扱いについては十分注意してください。 ブレーキフルードが皮膚に付着するとかぶれたり、肌荒れ等の症状がでる場合があります。皮膚に付着した場合、すみやかに水道水で洗い流してください。 ブレーキフルードが目に入った場合は、だだちに作業を中止し水で十分に洗い流した後、専門医の診察を必ず受けてください。 ブレーキフルードが塗装面等に付着すると塗装面が痛みます。万一付着した場合はすみやかに水道水で洗い流す、または脱脂洗剤等を使用して確実に取り除いてください。（脱脂洗剤等を使用する場合は、樹脂製部品やゴム部品に付着させないよう脱脂洗剤の取り扱い説明にしがってください。
---	---

△注意

 実施	<ul style="list-style-type: none"> パッケージ開梱時や商品取り扱い時にパッケージや商品の端面、突起、バリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。取り扱いの際や洗車を行なう際は必ず保護手袋などを使用し、ケガには十分に注意して作業を行ってください。 本商品を開梱の際は、構成部品や外観の不具合、異常がないことを必ずご確認ください。万一お気付きの点がございましたら、ご使用前にお買い求め販売店へ速やかにご相談ください。未使用品以外での外観不良は保証対象外となります。 本商品を取り付けする前に本書とメーカー発行のサービスマニュアルをよく読み、理解したうえで作業を行ってください。 作業は周囲の安全を確保し、安全な場所で車両を安定させた上で行なってください。
---	---

 実施	<ul style="list-style-type: none"> ボルトやナット類の締め付けにはトルクレンチを使用して必ずサイズに合った所定の締付トルク、または本書に記載されたトルクで締め付けを行ない確実に取り付けしてください。また記載がない箇所については、メーカー発行のサービスマニュアルを参考に取り付けを行なってください。 取り付け後約 100km 走行しましたら各部を必ず点検整備してください。その後は約 500km 毎に必ず点検整備を行ない、各部に異常がないか確認し、必要に応じてネジの増し締めを行なってください。 この商品を取り付けする際、バンジョー部のガスケットは必ず新品と交換してください。 完全にエアが抜けるまで確実にエア抜き作業をしてください。タッチが出ない場合は、ブレーキホース接続部にエアが入っている可能性が高いです。特にバンジョー部付近のエアが抜けにくいいため、十分にエア抜きを行なってください。エアが残ったままだとブレーキが効かず、衝突、転倒等の大怪我や死亡事故につながる危険があります。 装着後は各ケーブル類の取り回し、作動は正常か、車体側へ挟まっていないか等を十分に確認してください。 通常走行を行なう前に必ず慣らし運転を行なってください。これは、今までとの制動力、レバータッチ等の違いをライダー自身に確認していただくものです。 ブレーキフルードは使用過程や放置状態でも、空気中の水分を吸収し劣化していきます。装着車両の取扱説明書にしが、2年ごとにブレーキフルードの交換作業を行なってください。 この商品の取り付け時や点検時に確認できたはずの不具合が、その後に発生し重大な事故や不具合へつながっても当社では一切の責任をおいませぬ。 車両のメーカーより発行されているサービスマニュアルに準じた方法で定期点検を必ず行なってください。 商品装着後、ブレーキフルード漏れが無いが定期的にチェックを行なってください。
 法令違反	<ul style="list-style-type: none"> 本商品は使用者本人もしくは指定/認証工場以外での取付け作業、分解整備は行なえません。道路運送車両法に基づいた対応をしてください。
 その他	<ul style="list-style-type: none"> 本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの保証は、一切お受けできません。また商品保証は、本商品のみ対象となります。 本商品はスチール製の商品になります。ご使用環境や経年変化、メンテナンス状況により色落ちや素材劣化(サビ含む)が早期から進行する場合がございます。あらかじめご了承ください。 本商品は予告無しに価格や仕様の変更をする場合がございます。また文中にご紹介した商品についても同様です。あらかじめご了承ください。 バンジョーボルトのサイズは純正品もしくは相当品をご使用ください。サイズは M10XP1.25 です。

本商品の特長

- セパレートハンドル取り付け時に弛んでしまうブレーキホースがスッキリします。
- ニチリン製ハイスペックライン（ステンレスメッシュホース）採用で初期制動能力が向上。

商品内容

NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	ブレーキホース/アッパー		1	②	シーリングワッシャー	M10	4
③	ブレーキホース/ロワー		1	④	結束バンド		4

取付方法

【作業前の注意事項】

- 純正部品の取り外しや取り付けについては、各メーカー発行のサービスマニュアルに従い、正しく行ってください。
- 作業を始める前に周囲の安全を確保し、車両を安定させた状態で、転倒やケガなどに十分注意して作業してください。
- 事前に別売のセパハンK I Tを装着した状態からの取付説明がされています。
- ブレーキの経路が長いいためエア抜きの工程の難易度が大変高くなります。各接続箇所のエアが抜けにくく作業の難易度が非常に高いため、認証工場での作業をお奨めします。

同時装着品：セパハンセット

■ セパハンセットの取り付けの際は、商品に付属の取扱説明書を参考に作業を行ってください。

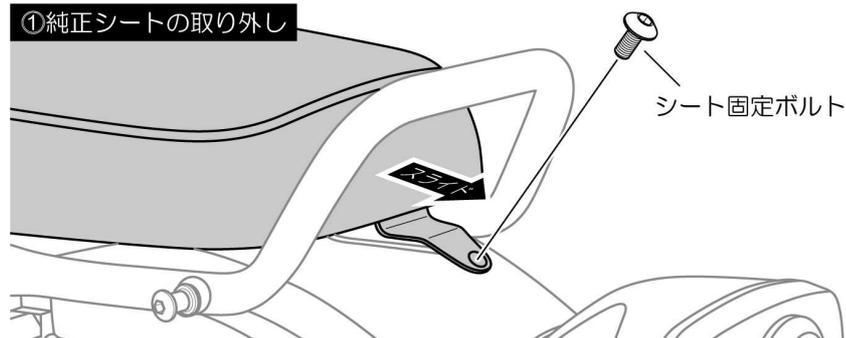
※GB350用のセパハンセットは別売品になります。

01. シートの取り外し

※詳細はサービスマニュアルに従って作業を行ってください。

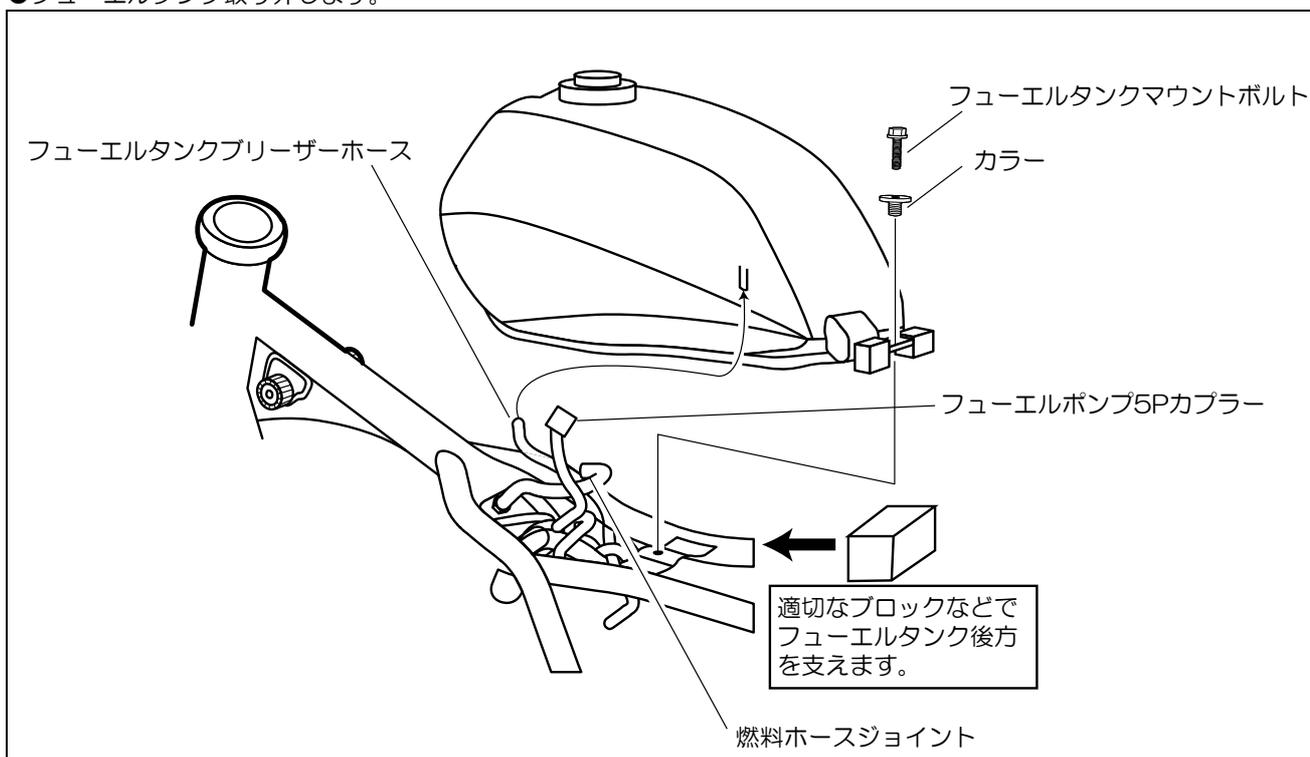
- シート後方のシート固定ボルトを取り外し、シートを後方に引きながら取り外します。

① 純正シートの取り外し

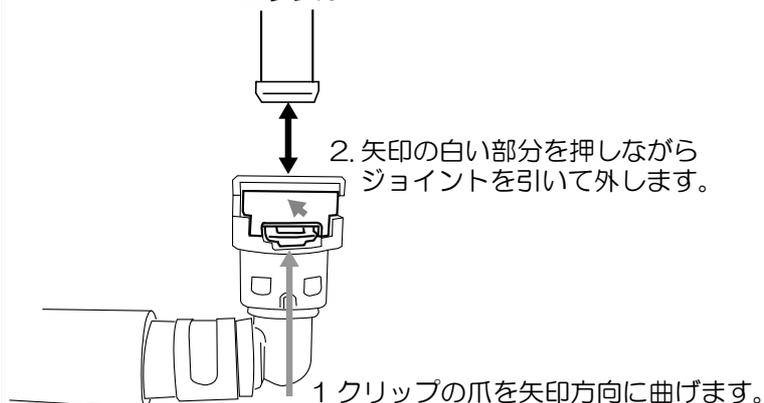


02. フューエルタンクの取り外し

- フューエルタンクのマウントボルトとカラーを外します。
- フューエルタンクを後方にずらし、適切なブロックなどでフューエルタンク後方を支えます。
- フューエルラインの燃圧を抜きます。フューエルタンク裏側にアクセスしフューエルポンプの5Pカプラーを外します。
- メインキーONにしてエンジンを始動します。
- 燃料を使い切ってエンジンが停止するまでアイドルングさせます。
- メインキーOFFにします。
- 燃料ホースジョイントを以下のイラストを参考に取り外します。
- フューエルタンクブリーザーホースを取り外します。
- フューエルタンクを取り外します。



【燃料ホースジョイントの外し方】

ガソリンタンク側
ニップル

03. ブレーキフルードの抜き取り

※ 03～06 の工程は必ず車両メーカー発行のサービスマニュアルをご用意して作業を行ってください。

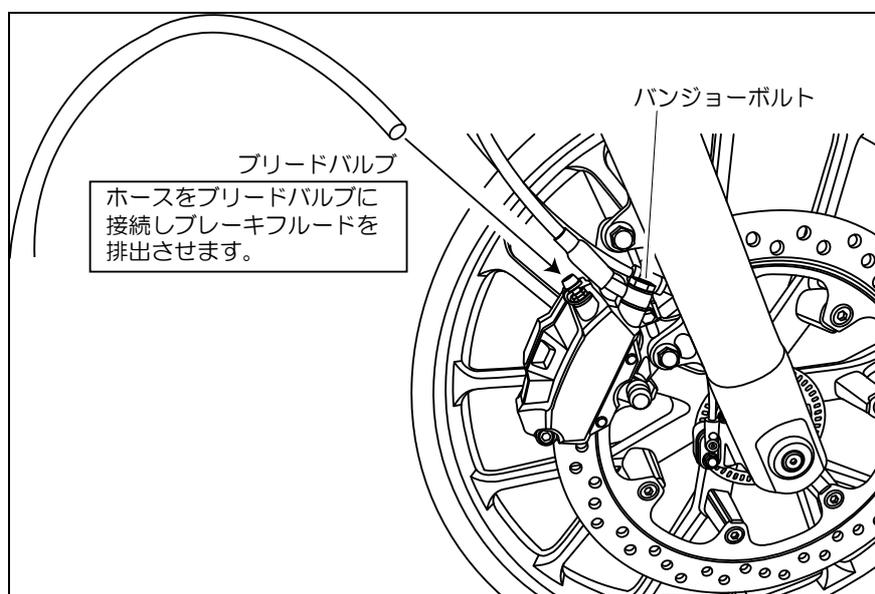
※ 設備の整ったオートバイ店や認証整備工場で専門的な教育を受けた整備士に依頼してください。専門外の方が作業を行った場合、怪我や重大な事故が起こる恐れがあり、大変危険です。誤った取付や不注意による事故や不具合に関しては保証の対象外となります。

⚠注意

※この手順より作業完了まではABSモジュレータの作動をさせないためメインキーOFFの状態で作業してください。

- メインキーをOFFにし、キーを抜きます。
- リザーバタンクを水平に近づくようハンドルを切ります。
- ホースをキャリパーのブリードバルブに接続します。
- ホース先端にブレーキフルード受けを置き、ブレーキフルードが排出されるようにします。
- リザーバタンクのスクリュー、リザーバカバー、セットプレート、ダイヤフラムを取り外します。
- ブリードバルブを緩め、ブレーキレバーの操作をブレーキフルードがホースから出なくなるまで繰り返します。

※排出したブレーキフルードは各自自治体の処理方法に従って廃棄してください。

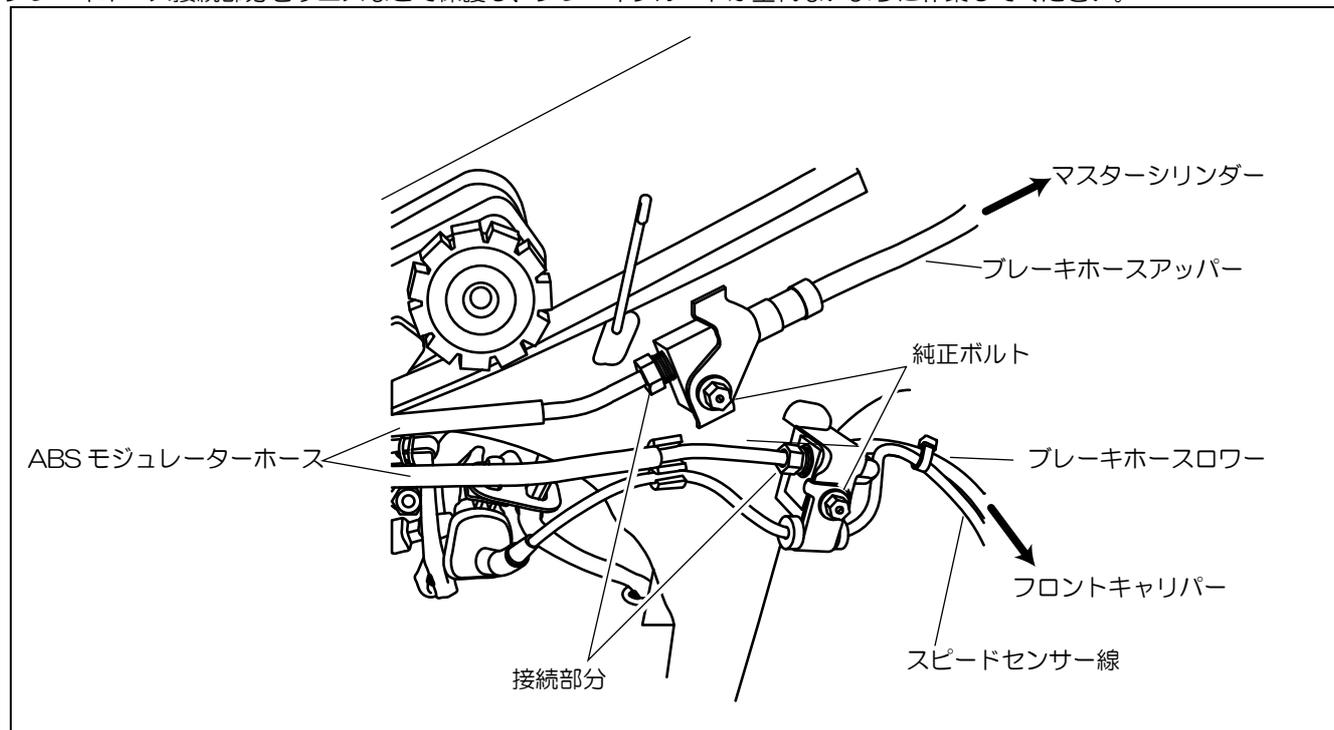


04. 純正ブレーキホースの取り外し

- スピードセンサー線と純正ブレーキホースローアのワイヤクランプを取り外します。
- 純正ブレーキホースアッパー/ローアのバンジョーボルトを取り外します。
- ABS モジュレータホース接続部分の純正ボルトを外し接続部分から緩めて取り外します。

⚠注意

ブレーキホース接続部分をウエスなどで保護し、ブレーキフルードが垂れないように作業してください。



05. ブレーキホースの取り付け

- ①ブレーキホース/アッパーをマスターシリンダー側は③シーリングワッシャー、純正バンジョーボルトを使用して組付けます。

バンジョーボルト締め付けトルク：34N・m

- ABS モジュレータ側は純正と同様に ABS モジュレータホースと接続します。

ABS モジュレータジョイントナット締め付けトルク：14N・m

- ②ブレーキホース/ローアをキャリパー側は③シーリングワッシャーと純正バンジョーボルトを使用して組付けます。

バンジョーボルト締め付けトルク：34N・m

- ABS モジュレータ側は純正と同様に ABS モジュレータホースと接続します。

ABS モジュレータジョイントナット締め付けトルク：14N・m

- スピードセンサー線と②ブレーキホース/ローアを④結束バンドで適宜な位置で固定します。

06. ブレーキフルードのエア抜き作業

- リザーバタンクにブレーキフルードを上限まで補充します。
 - ブリードホースをキャリパーのブリードバルブに接続します。
 - レバーを握ったまま、ブリードバルブを 1/4 回転緩め数秒間待ってブリードバルブを閉じる。
 - レバーを戻し、数十回握ったり離したりを繰り返します。
 - レバーを握ったまま、ブリードバルブを 1/4 回転緩め数秒間待ってブリードバルブを閉じる。
 - リザーバタンクのブレーキフルードをつぎ足しながら、以上の工程を繰り返し、ブリードバルブから排出される気泡が無くなるまで行います。
 - エア抜き完了後ブリードバルブを規定トルクで締め付けます。
- ブリードバルブ締め付けトルク：5.4N・m
- リザーバタンクの油面を上限まで補充し、外した部品をもとのように組付けます。

07. フューエルタンクの取り付け

- 燃料ホースジョイントをタンクに挿し込みます。
※「カチッ」と音が鳴ればロックされます。その後は燃料ホースジョイントが抜けないか確認を行なってください。
- フューエルポンプ 5P カプラーを接続します。
- フューエルタンクブリーザーホースを取り付けます。
- フューエルタンクをマウントラバーに挿し込み、フューエルタンク後方のマウントボルトとカラーを組付けます。
- メインキーを ON にしてフューエルポンプの作動が終わるまで待ちます。エンジンストップスイッチを ON⇒OFF させ、再びフューエルポンプを作動させます。
※フューエルポンプを作動させる作業を2～3回繰り返し、燃料が漏れていないことを点検してください。

08. 点検作業

- ハンドルを左右にきって接触する部分が無いか、ケーブルやスロットル、ハーネスなどがつぶされたり無理に引っ張られていないか、スロットルは正常に開き戻るか確認します。
- エンジンを始動し灯火類が正常に作動することやハンドルを左右にきりアイドル状態からエンジン回転数が変化しないか確認します。
※回転数が変化する場合はスロットルワイヤーが引っ張られています。ケーブル類の取り直しを見直してください。

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面(レシートなど)が必要となります。

※保証の対象は、新品かつ正規販売店での購入品に限ります。個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。

3. 下記のアドレス(またはQRコード)より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を持って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



■保証修理のお受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/form.php>



東証JASDAQ上場

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

<https://www.daytona.co.jp>



本取扱説明書の内容の一部、
または全ての無断転載を禁止